

## ドローンを活用した水稲雑草防除実演会を開催しました

上田農業農村支援センターでは、6月22日にドローンによる水稲雑草防除実演会を上田市御岳堂（旧丸子町）の水田ほ場で開催しました。

当日は、水稲栽培者やJA関係者など約40名が参加し、ドローン活用への関心の高さがうかがえました。

この実演会は、水稲の雑草防除作業の労力削減やコスト軽減を図るとともに、最新のドローンの状況を知ってもらうために開催したものです。

始めに支援センター担当者・農薬メーカーから、それぞれ県下で実施しているドローンによる水稲除草剤試験の現状やドローン用に開発された除草剤等の説明を行いました。

続いて相馬商事株式会社の担当者より、今回使用するドローンの機種説明や2機同時飛行散布のねらい等の説明があり、ドローンによる実演を行いました。

実演では、ドローン用に開発された少量拡散剤と1kg粒剤を、それぞれ2機同時に飛行散布し、散布時間の差を見てもらいました。少量拡散剤は30aを2分程度で散布することができ、1kg粒剤の散布に比べ、短時間での散布ができました。

参加者からは、「ドローンにより短時間での散布が可能で、面積がまとまればかなり効率的にできる」などの感想が聞かれました。

また、お試し導入で設置した水田センサーについて、センサーの概要を説明し、実際現地に設置してあるものを見学してもらいました。

これからも、農業分野でのドローンや自動草刈機の活用など、スマート農業の情報を発信していきたいと思えます。

